

学校教育を支援する学校事務
～「学校予算」と「情報セキュリティ」の実践をとおして～

1. 設定理由

社会の変化に伴い、学校をとりまく環境も大きく変化し、求められる責務や課題も多様化している。そのような状況の中、事務職員には学校運営組織の一員として、学校経営への参画が求められている。長狭地区では、「学校予算」と「情報セキュリティ」についての実践をとおして、事務職員が学校運営に積極的に関わることで、教育支援につなげていこうと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

- (1) 事務職員が、学校における課題の解決に向けて主体的に取り組み、教育環境を整えることで、より教育活動の充実が図られるであろう。
 - ・職員に対するアンケート調査や情報発信等の働きかけを行うことで、職員の学校予算に対する意識が高まり、教育活動に有効な予算の執行ができるであろう。
 - ・情報セキュリティに対する職員向け啓発資料の配布や意識調査を実施し、効果的に職員に周知することで、職員の意識が高まり、情報セキュリティの強化が図れるであろう。
- (2) 事務職員が、予算と情報に関する職務を、各学校の運営組織の中で組織的に機能させることで、より効果的な教育支援につながるであろう。
 - ・予算委員会に対する意識調査を実施し課題を明らかにすることで、現場に即した予算委員会モデル案が作成できるであろう。
 - ・事務職員が、情報セキュリティに関する校務分掌に位置づけられることで、より主体的に活動でき、課題の改善に向けた取り組みが円滑に図れるであろう。

3. 研究内容

- (1) 学校予算
 - ・教育活動に有効な予算の執行
 - ・学校予算の組織的な運用のために
- (2) 情報セキュリティ
 - ・外部記憶媒体の適切な管理
 - ・セキュリティ指針定着への取り組み
 - ・より主体的な取り組みを目指して

4. 研究のまとめ

事務職員が学校における課題を解決するために主体的に取り組むことで、より良い教育環境を整えることができた。また、校内での管理職や職員との連携により、円滑に課題を改善することができた。今後は、さらに効果的な教育支援を目指し、実践してきたことの定着や、組織の確立を目指していかなければならない。

長狭地区の事務職員が学校経営への参画を常に意識し、事務職員として何ができるかを考え、充実した教育活動が行われるよう、より積極的に学校運営に関わっていきたい。

提案者 鴨川市立鴨川小学校 菅谷直美
鴨川市立安房東中学校 渡辺幸恵